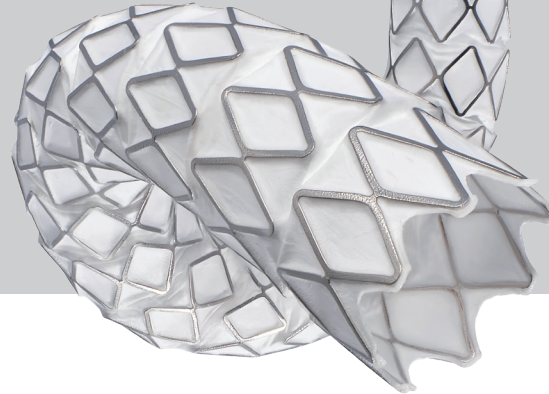


CASE REPORT : Iliac

ゴア® バイアバーン® VBX
バルーン拡張型ステントグラフト

GORE® VIABAHN® VBX
Balloon Expandable
Endoprosthesis



橈骨動脈からゴア® バイアバーン® VBX バルーン拡張型ステントグラフトを 用いて治療を行った総腸骨動脈入口部 高度石灰化病変の一例



吉岡 直輝先生
大垣市民病院 循環器内科

TRIで広がる、低侵襲な腸骨動脈ステントグラフト治療

腸骨動脈における高度石灰化病変に対する治療は、従来のペアメタルステントのみの時代からVBX ステントグラフトが登場したことで、バルーン拡張型ステントグラフトによる内腔確保を目的とし、安全性にも配慮した治療戦略の構築が可能となった。一方で従来のVBX ステントグラフトでは鼠径部からの7 Frシステムを要することが多く、出血合併症や術後安静の観点からも術者にとってはハードルになりえた。2024年にゴアから発表された新世代のロープロファイル VBX デリバリーシステム (BXBで始まる品番) は7 mm径のステントグラフトまでは6 Frシステムで使用できるようにロープロファイル化されている。これによって、同時に腸骨動脈領域で一つの潮流となっている経橈骨動脈インターベンション (Trans Radial Intervention: TRI) との親和性も高まった。このような新システムの登場は、治療選択の幅が広がると同時に患者側にとっても、出血リスクや術後の安静時間の低減といった恩恵が期待できる。

本稿では総腸骨動脈入口部の高度石灰化病変に対し橈骨動脈アプローチにてVBX ステントグラフトを用いて治療した症例を紹介する。

VBX ステントグラフトのデリバリーシステムがロープロファイル化されたことで、今回の症例のような高度石灰化病変も低侵襲でシンプルに治療することが可能であった。また入口部病変であってもバルーン拡張型というプラットフォームの利点が生き、留置時の位置決めも行いやすかった。6 Frシステムで後拡張により最大11 mmの血管径まで対応可能となったことで、VBX ステントグラフトはより低侵襲に、より多くの症例に対し使用しやすいデバイスになったと考えている。

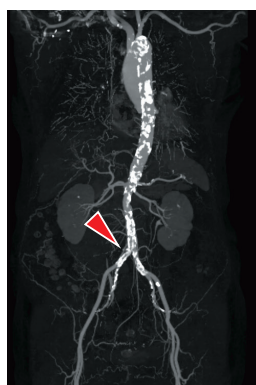


図1a. 術前CT

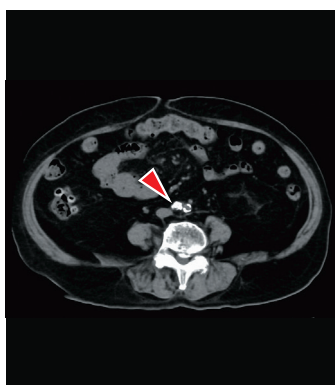


図1b. 術前CT

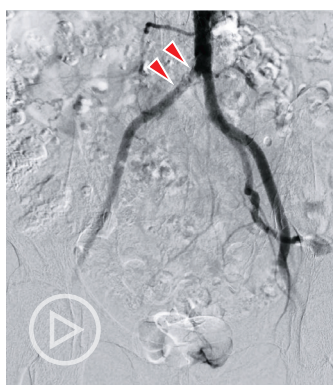


図2. 術前造影

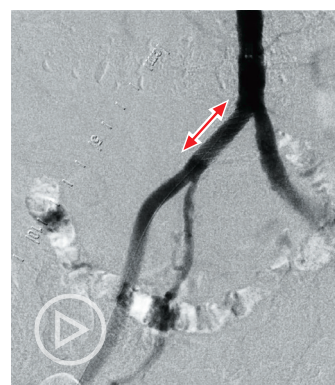


図6. 最終造影

患者背景・病変背景

- ・年齢：78歳
- ・性別：女性
- ・対象病変部位：右総腸骨動脈近位部
- ・リスク因子：高血圧症、脂質異常症
- ・Rutherford分類：3度
- ・TASC^a II分類：A (高度石灰化合併)

使用デバイス

- ・シース：6 Frガイドリングシース 110 cm
- ・前拡張バルーン：ハイプレッシャーバルーン 6.0 × 20 mm
- ・ステントグラフト：VBX 7.0 × 29 mm (BxB)
- ・後拡張バルーン：ハイプレッシャーバルーン 8.0 × 20 mm
- ・その他：血管内超音波 (IVUS)

治療戦略、治療内容

右総腸骨動脈入口部の高度石灰化を伴う狭窄病変。術前のCT画像を示す (図1a, 1b)。石灰化はあるものの、病変長は比較的短く、低侵襲でのシンプルな治療が可能と判断し、橈骨動脈アプローチによる血管内治療を行う方針とした。

左橈骨動脈から6 Frガイドリングシースを用いて血管造影を施行 (図2)。その後ガイドワイヤーで病変通過後、IVUSによる病変評価を行った (図3)。偏心性の高度石灰化病変であり、入口部病変であることも踏まえ、バルーン拡張型ステントグラフトであるVBXステントグラフトの良い適応と判断した。6.0 × 20 mmのハイプレッシャーバルーンにて前拡張、indentがとれたことを確認し、VBXステントグラフト7.0 × 29 mmを留置 (図4)。その後8.0 × 20 mmのハイプレッシャーバルーンにて後拡張を行った。IVUSでステントグラフト内腔が正円にかつ十分広がっていることを確認した (図5)。最終造影でも良好な拡張と血流改善を認め (図6)、手技終了とした。穿刺からシース抜去までの時間は45分で、術後の安静も不要であった。足関節上腕血圧比 (ABI) は術前の0.65から術後は1.07に改善した。

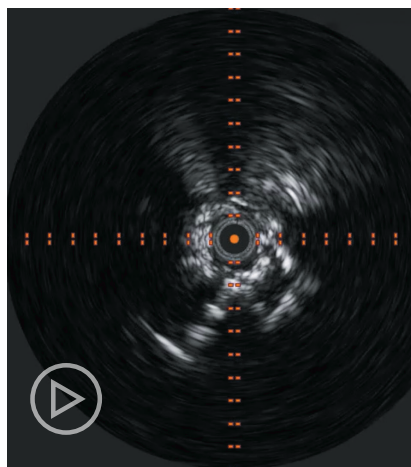


図3. IVUSによる病変評価

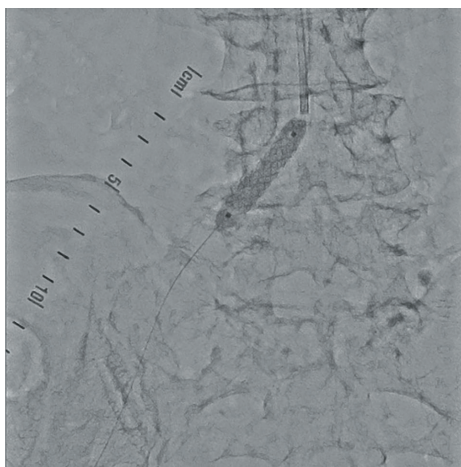


図4. VBX ステントグラフト留置

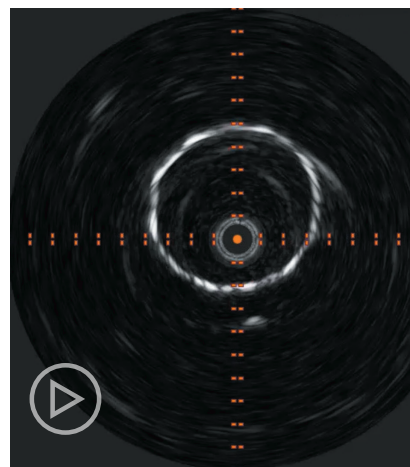


図5. 術後IVUS画像

a. TransAtlantic Inter-Society Consensus

一連の動画再生はこちら ▶



販売名：ゴア® バイアバーン® VBX バルーン拡張型ステントグラフト 承認番号：22900BZX00309000 一般的名称：ヘパリン使用中心循環系ステントグラフト

本資料は医療関係者向けです。それ以外の方への再配布はご遠慮ください。全ての禁忌、警告、使用上の注意および有害事象に関する詳細は電子化された添付文書（電子添文）を必ずご参照ください。

本資料に示される情報は完全なものではなく、全ての症例に適用できるものではありません。また、電子添文および各症例に関する医療関係者の専門的な判断の代替となるものでもありません。各患者への医療行為に関する全ての判断は、それを行う各医療関係者の責任に属するものであり、当社はこれらに関する判断、助言等を行うものではありません。

© 2026 W. L. Gore & Associates, Inc. / 日本ゴア合同会社 無断転載・複製を禁じます。記載の商標は、Goreグループの関連会社または各権利者の商標です。

“Together, improving life” および記載のデザイン（ロゴ）は、Goreの商標です。 26PL3006-JA01 JULY 2026 MAT-0457-1

製造元 W. L. Gore & Associates, Inc.

製造販売元 **日本ゴア合同会社**
メディカル・プロダクツ・ディビジョン

〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
T 03 6746 2560 F 03 6746 2561 goremedical.com/jp

